

分析機器部門講習会シリーズ

ChIP 関連技術とリコンビナント抗体最新情報

要旨： アクティブ・モティフ社はエピジェネティクス研究ツールに注力した、米国に拠点を置くグローバルなバイオテクノロジー企業です。10年以上の歴史をもつクロマチン免疫沈降(ChIP)受託サービスにおいては、各種培養細胞に加え25種類以上の組織由来サンプル、FFPE サンプル、350以上のターゲットからなる計12,000以上のサンプルの受注を承りました。本セミナーでは、アクティブ・モティフの受託サービスや研究開発で蓄積されたノウハウに関連した、以下のトピックスを紹介する予定です。

- 1) がん FFPE サンプルからの遡及的 ChIP-Seq 解析
- 2) Spike-in ストラテジーによる標準化 ChIP-Seq 法の開発と EZH2 阻害剤効果の検証
- 3) RIME 法によるエンハンサークロマチン構成因子の同定
- 4) 多機能タグを付加したリコンビナント抗体の開発

*本講習会では、分析機器部門に未導入の機器・技術について紹介します。

日 時 : 平成29年10月24日(火) 13:30~14:30

受講対象 : 研究者・医師(癌、病理、分子生物学、エピジェネティクス等)

場 所 : 医系研究棟3号館4階実習室

定 員 : 20人

申込期間 : 平成29年10月16日(月)まで

申込方法 : 電子メールで、subject を ChIP として、「講習会名」、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、「電子メールアドレス」を明記の上、yitoh@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申し込みください。

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当: 伊藤 (内線: 2403、Email: yitoh@med.nagoya-u.ac.jp)

※Web でも講習会情報を掲載しています (<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)